

第1学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。	
	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕	
	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕	
教科書	国語1 (光村図書) 新編新しい書写1・2・3年用 (東京書籍)	
	副教材 E 漢字 (とうほう) すらすら基本文法 (浜島書店) 国語便覧 (浜島書店)	

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等) (2)情報の扱い方に関する事項 (文章や資料等の関係を理解や整理等) (3)我が国の言語文化に関する事項 (伝統的な言語文化や書写等)	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト (定期、単元、技能等) ※技能テスト:音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物 (ノート、レポート、作品等)	・テスト (定期、単元等) ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物 (ノート、レポート、作品等)	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物 (ノート、レポート、作品等) ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録 (ノート等) は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	オリエンテーション・自己紹介 野原はうたう（読・言語） 原稿用紙の正しい使い方/ 用言と共通語（書・言語） ダイコンは大きな根？（読）	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習の仕方、副教材について知る。 ・詩の特徴と、作者の込めた感動や工夫を知る。 ・原稿用紙に作文する場合のルールを覚える。 ・説明文でつける力を確認する。
5	ちょっと立ち止まって（読） シンシュン/空中ブランコ乗りのキキ （読・言語） 情報を的確に聞き取る（書） 漢字の組み立てと部首（言語）	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語と指示語に注意しながら、資料と文章の関係、用紙のまとめ方を知る。 ・場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉えると同時に、人物像を考える。 ・情報の聞き取り方や整理の仕方などを理解する。 ・漢字の部首を理解する。
6	文法1（言語） 話の構成を工夫しよう（話・聞） 情報を集めよう/情報を読み取ろう/ 情報を引用しよう（情） 詩の世界（読） 比喩で広がる言葉の世界（読・言語）	<ul style="list-style-type: none"> ・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・言葉の単位について理解する。 ・筆者の主張と事例との関係を理解する。 ・説得力のある文章について理解する。 ・情報の集め方や活用のしかたを理解する。 ・詩の表現から情景や心情を把握する。 ・詩によく使われる主な技法を知る。
7	読書を楽しむ（読・言語） 読書感想文の書き方（書・言語）	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な本に触れる楽しさを味わう。 ・読書感想文の書き方の基本を覚える。 ・実際に読書感想文を書く。
9	大人になれなかった弟たちに……（読） 蓬莱の玉の枝——「竹取物語」から（読） 今に生きる言葉（読）	<ul style="list-style-type: none"> ・描写を基に登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通してその世界に親しんだり、登場人物の関係や思いに着目して読んだりする。 ・漢文の基礎と、故事成語について知る。
10	文法2（言語） 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（読） 思考のレッスン2 原因と結果（言語） 【話し合い】話し合いの展開を捉える （話・聞） 根拠を示して説明しよう（書）	<ul style="list-style-type: none"> ・主語・述語・修飾語などの分の成分の見分け方を覚える。 ・筆者の意見と根拠、文章の構成や展開の効果について考える。 ・原因と結果、意見と根拠などの関係について理解する。 ・意見と根拠などの関係を理解し、話し合う。 ・相手や目的に合わせて情報を選び、整理し、伝える。 ・根拠について考え、説得力のあるレポートを書く。
11	音読を楽しもう 大阿蘇（読） ミミコの独立（読・言語） 「不便」の価値を見つめ直す（読） 文法3（言語）	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・詩そのものを理解する面白さを味わい、詩に込められた作者の心情を理解する。 ・必要な情報を取り出し、結び付いて要約するとともに、それに対する自分の考えをもつ。 ・文節同士の関係・連文節などを知る。
12	漢字の音訓（言語） 漢字の成り立ち 毛筆[楷書・行書]（言語）	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字に読みと訓読みがある理由と見分け方を理解する。 ・漢字のでき方を知る。 ・楷書の基礎を覚え、字形・大きさ・配列を意識して書く。
1	随筆二編（読） 大仏様は「にっこり」しています。（読） 少年の日の思い出（読） 方言のクッション（読）	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆というジャンルの特徴を知る。 ・作者のそれとなく伝えたい内容を把握する。 ・状況の変化、登場人物の心情をとらえると同時に、語り手の勝手な思いが込められた表現に気づく。
2	星の花が降るころに（読）	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとしたセリフから登場人物の心情を推察する。 ・書く内容が明確になるように構成や描写を考えて書く。
3	1年間の学びを振り返ろう（話・聞）（書） さくらの はなびら（読）	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理し、自分の考えを分かりやすく伝える。

※書写は、国語科の授業の中で年間20時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。
- ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。

第1学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
教科書	社会科 中学生の地理 (帝国書院)、新しい社会 歴史 (東京書籍)、地図帳 (帝国書院)
副教材	社会の自主学习地理1・歴史1 (新学社)、ビジュアル地理I・II、歴史 (とうほう)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【地理】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【歴史】 我が国の中世までの歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>	<p>【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている</p> <p>【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p>【地理】 世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<p>定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など</p>	<p>定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 ノート・ポートフォリオなどの記述 授業中の発言 など</p>	<p>授業中の活動や発言 ノート・ポートフォリオなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など</p>

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、地図帳や資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	㊦【世界と日本の地域構成】 (地) 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
5	(地) 日本の姿 ㊦【世界のさまざまな地域】 (地) 人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
6	㊦【世界の諸地域】 (地) アジア州 (地) ヨーロッパ州	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。
7	(地) アフリカ州	

9	<p>(地) 北アメリカ州</p> <p>(地) 南アメリカ州</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
10	<p>(地) オセアニア州</p> <p>※世界の各国・諸地域の情勢によって、各州の学習順が入れかわることがあります。</p> <p>㊦【日本のさまざまな地域】</p> <p>(地) 身近な地域の調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
11	<p>(歴) 【歴史へのとびら】</p> <p>(歴) 歴史をとらえる見方・考え方</p> <p>(歴) 身近な地域の歴史</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年表の読み取りを通して、年代の表し方や時代区分についての基本的な意味や意義を理解する。 ・身近な地域の歴史について、自ら目標を定め、課題の解決に向けて主体的に学習する態度を身に付ける。
12	<p>(歴) 日本列島の誕生と大陸との交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代の人々の生活の様子を、考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。 ・日本の国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとの関わりを通して捉える。 ・様々な資料を通して、日本と中国・朝鮮半島との交流について気付く。
12	<p>(歴) 古代国家の歩みと東アジア世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正倉院の宝物や地図から、中国、西アジアやインドなどの影響が見られることに気付く。 ・平安遷都の理由や意義、平安時代初めの政治の特色について理解する。 ・藤原氏が行った摂関政治の特徴について理解する。 ・代表的な事例を通して、国風化した文化の特色を理解する。

1	<p>(歴) 【中世の日本】 (歴) 武士の政権と成立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・武士が次第に勢力を広げたことを、都や地方で起きた戦乱の様子などから理解する。 ・荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり、武士の成長との関連を捉える。 ・院政の特色を、摂関政治と比較して理解する。 将軍や執権と御家人の関係に着目して、武家政権の特色を考察し、表現する。 ・鎌倉時代の武士の生活の様子を、絵巻物や文書資料などを通して捉える。 ・代表的な事例を通して、鎌倉時代の文化の特色を理解する。
2		
3	<p>(歴) ユーラシアの動きと武士の政治の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル帝国の成立過程や文化について、その特徴を理解する。 ・鎌倉幕府が滅亡した理由を、モンゴルの襲来の影響や社会の変化から考察し、表現する。 ・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ・室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して、その特徴を捉える。 ・琉球や蝦夷地の人々の交流や結び付きを理解する。 ・農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ・戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の状況から考察し、表現する。 ・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。

第1学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。</p> <p>(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>	
	教科書	未来へひろがる数学1 (啓林館)
	副教材	問題ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・授業の様子や発言内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 ・自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 ・他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 ・ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
----	--

- ・分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。
- ・授業で学習した内容に関連する問題（「ドリルパーク」の標準問題や発展問題、問題ノート）でしっかりと練習するようにしましょう。
- ・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数 1 0より小さい数 2 正の数・負の数で量を表すこと 3 絶対値と数の大小 	<p>(知) 正の数・負の数の必要性和意味を理解し、数直線上に表したり、読み取ったりすることができる。</p> <p>(思) 反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すときの方法を考察し表現することができる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数の計算 1 正の数・負の数の加法、減法 2 正の数・負の数の乗法、除法 3 いろいろな計算 4 数の世界のひろがり 	<p>(知) 正の数・負の数の計算の意味を理解し、その計算ができる。</p> <p>(思) 算数で学習した数の計算と関連付けて、正の数・負の数の計算の方法を考察し表現することができる。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数の利用 1 正の数・負の数の利用 	<p>(知) 身近な事象を負の数を用いて表現し、処理することができる。</p> <p>(思) 身近な事象を数学的に捉え、正の数・負の数を用いて考察し表現することができる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式 1 数量を文字で表すこと 2 文字式の表し方 3 式の値 	<p>(知) 文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字式の約束に従い数量を文字式に表したり、文字式から数量を読み取ったりすることができる。</p> <p>・文字式に数を代入して、式の値を求めることができる。</p> <p>(思) 文字式での数量の関係の表し方や、式が何を意味しているのかについて考察し表現することができる。また、式の値を求める意味を、具体的な場面と関連づけて考察し表現することができる。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式の計算 1 文字式の加法、減法 2 文字式と数の乗法、除法 3 関係を表す式 	<p>(知) 一次式の意味を理解し、計算ができる。また、数量の関係を等式や不等号で表したり、意味を読み取ったりすることができる。</p> <p>(思) 一次式の計算の方法を考察し表現することができる。また、文字式の数量関係の表し方や、式の意味を考察し表現することができる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式 1 方程式とその解 2 方程式の解き 3 比と比例式 	<p>(知) 方程式の必要性、文字や解の意味を理解し、文字に数を代入し、その数が解であるかを確かめることができる。また、移項の意味を理解し、方程式を解く方法を理解することができる。</p> <p>(思) 等式の性質をもとにし、方程式を解く方法を考察し表現することができる。また、数や文字式の計算と方程式を解く方法の違いについて考察し表現することができる。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式の利用 1 方程式の利用 2 比例式の利用 	<p>(知) 事象の中の数量やその関係に着目して、方程式や比例式をつくり、その方程式や比例式を解くことができる。</p> <p>(思) 方程式や比例式を具体的な場面で活用し、求めた解や解決の方法を振り返り、それが適切かどうかを考察し表現することができる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 1 関数 	<p>(知) 関数の意味について理解し、具体的な事象の中から、ともなって変わる数量を見つけることができる。</p> <p>(思) 表やグラフを用いて、変化の様子を調べることができる。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・比例 1 比例の式 	<p>(知) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。</p>

11	2 座標 3 比例のグラフ	(思)具体的な事象から、比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
	・反比例 1 反比例の式 2 反比例のグラフ	(知)具体的な事象から、比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思)具体的な事象から、比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
	・比例、反比例の利用 1 比例、反比例の利用	(知)比例・反比例の関係を利用して、身のまわり問題を、文字を使った式を使って表すことができる。 (思)比例・反比例としてとらえられる二つの数量について、表、式グラフを用いて調べ、それらの変化と対応の特徴を見いだすことができる。
	・直線と図形 1 直線と図形	(知)直線や角などについて、用語・記号を使って表すことができる。 (思)平面における2直線の位置関係を見出し、表現することができる。
	・移動と作図 1 図形の移動 2 基本の作図 3 図形の移動と基本の作図の利用	(知)図形の移動について理解し具体的な場面で、図形の移動と基本的な作図ができる。 (思)移動の前後の関係から性質や関係を見いだすことができ、基本的な作図の方法を考察し、統合的にとらえ、表現することができる。
12	・円とおうぎ形 1 円とおうぎ形の性質 2 円とおうぎ形の計量	(知)弧や弦などの円に関する用語を理解し、円の接線を作図することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 (思)円の接線の性質から円の接線の作図方法を考察し表現することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積、中心角の求め方について考察し表現することができる。
1	・立体と空間図形 1 いろいろな立体 2 空間内の平面と直線 3 立体の構成	(知)角錐、円錐や多面体の意味と、見取り図、展開図、投影図について理解し、どのような立体を表しているのかを読み取ることができる。 ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・平面図形や線分の運動によって、どのような立体が構成されるかや、回転体の意味を理解している。 (思)形や面に着目し、立体の特徴と、見取り図、展開図、投影図を用いて立体の性質を見だし、考察し表現することができる。 ・空間における直線や平面の位置関係について考察し表現することができる。 ・柱体、錐体、球などの立体を、平面図形や線分の運動によって構成されていると捉えることができる。
2	・立体の体積と表面積 1 立体の体積 2 立体の表面積	(知)立体の体積と表面積の求め方を理解し、求めることができる。 (思)立体の体積と表面積の求め方について考察し表現することができる。
	・ヒストグラムと相対度数 1 データを活用して、問題を解決しよう 2 整理されたデータから読み取ろう	(知)目的に応じた資料を収集し、整理することができる。 (思)整理した資料を読み取り、物事を判断し、説明をすることができる。 ・度数分布表やヒストグラムなどの必要性和意味を理解し、資料の傾向をとらえ、利用することができる。
3	・データにもとづく確率 1 相対度数と確率	(知)実験などを通して、確率の意味を理解し、身の回りの事象についての確率を求めることができる。 (思)多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確実な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- ・学習内容の必要性と意味を考えようとしている。
- ・学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
- ・学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

の観点で評価する。

第1学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>自然事象に関心を持ち、科学的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行い、分析することなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然事象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。〔知識及び技能〕</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3) 自然事象に自ら進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
教科書	未来へひろがる サイエンス1 (啓林館)
副教材	基礎をきざく 理科ノート1年

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期・小テスト等 ・パフォーマンス (技能) テスト ・ノートやレポートの記述内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期・小テスト等 ・発言内容 ・ノートやレポートの記述内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノートやレポートの記述内容 ・振り返り (自己・相互評価) <p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点からの学習状況を踏まえた評価とする。</p>

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の『めあて』を意識しながら、授業に積極的に参加しましょう。 ・先生の問い・疑問・質問に対して、積極的に挙手して発表しましょう。 ・これまでに学習した内容をいかして、自分なりの仮説や予想を立てましょう。 ・理科用語や器具の操作方法は、意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、どんなことがわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象との関わりを考えましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・学校で学んだことは、その日のうちにワークやiプリ等で復習をしましょう。 ・新聞やテレビ等を見て、自然現象や科学的事象に進んで関わりましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	自然の中にあふれる生命	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだす。 ・観察器具の操作や、観察記録のしかたを習得する。 ・さまざまな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとに、分類できることを理解する。 ・分類のしかたの基礎を習得する。 ・身近な生物を観察することで、生物に対する興味・関心を高める。
5	【生命】 いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な植物の観察を行い、観察記録などにもとづいて、さまざまな共通点や相違点があることを見いだす。 ・植物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点をもとに、植物が分類できることを見いだす。 ・植物に対する興味・関心を高め、植物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。 ・身近な動物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・動物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点をもとに、動物が分類できることを見いだす。 ・動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。
6		
7	【エネルギー】 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光の反射・屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。 ・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置・像の大きさや向き関係を見いだす。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約340m/sの速さで伝わること、音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。 ・物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いだす。 ・力は大きさと向きによって表されることを理解する。 ・2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだす。
9		
10		
11	【物質】 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の姿とその変化	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな方法で、身のまわりの物質の性質を調べる。 ・物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解する。 ・ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行う。

12		<ul style="list-style-type: none"> ・気体の種類による特性・特徴を理解する。 ・気体を発生させる方法・捕集法などの技能を身につける。 ・物質が水にとける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解する。 ・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。 ・物質の状態変化についての観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 ・物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知る。 ・混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだす。
1	<p>【地球】 活きている地球</p> <p>1章 身近な大地</p> <p>2章 ゆれる大地</p> <p>3章 火をふく大地</p> <p>4章 語る大地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。 ・観察器具の基本的な扱い方を身につける。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。 ・さまざまな火山の活動などを調べ、その様子はマグマの性質が深く関係していることを考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。
3		<ul style="list-style-type: none"> ・地層の重なり方や広がり方の規則性、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測する。 ・地層のでき方を理解する。 ・プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的にとらえ、大地からの恵みや災害について理解する。

第1学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)音楽表現を創意工夫することや音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	
	教科書	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
	副教材等	キミウタ(教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の間を関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・実技テスト(演奏・聴き取り等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における練習の様子 ・ワークシート等への記述内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・作品やレポート など

3 学習についてのアドバイス

学 校	<p>人は表現することで、自分と出会い、自分の心を取め、受け入れ、理解することができます。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
	家 庭

4 題材・目標等について

月	題材	題材の目標	教材
1 学 期	思いをこめて合唱しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを込めて明るい声で合唱しよう。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。 	その先へ My Voice!
	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成を感じ取って歌おう。 	主は冷たい土の中に
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。 	春
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの種類や特性を理解し、それらを使って創作表現を楽しもう。 	リズムゲーム・リズムアンサンブル・リズムチャレンジ
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの役割を感じ取って合唱しよう。 ・曲想を生かして合唱しよう。 	合唱コンクールの曲
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。 	魔王
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。 	赤とんぼ (共通教材) 歌い継ごう 日本の歌
	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。 ・アジア各地の音楽を聴こう。 ・声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。 	日本の民謡 生活や社会の中の音楽 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節
	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 ・構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。 	ジョーズのテーマ 指揮をしてみよう! Let's Create!
3 学 期	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。 ・楽器の特徴や奏法について理解し、演奏を工夫しよう。 	箏曲「六段の調」 虫づくし、姫松、 さくらさくら (箏)
	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる合奏を聴こう。 	雅楽「平調子 越天楽」
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方の特徴を生かして、旋律を作ろう。 	My Melody
	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。 	心通う合唱 卒業式 式歌 国歌「君が代」・校歌

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中での美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
	(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
	(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	教科書『美術1 美術との出会い』（日本文教出版）
副教材	美術資料（秀学社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 振り返りシート 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 振り返りシート 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 振り返りシート

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> 授業中は教科書・資料集)やそのときに指示された準備物を準備して、聴く姿勢を維持しよう。 制作活動では、アイディアスケッチや資料を基に、習得した技術を活かしながら自分の想いや考えを表現しよう。 自分の想いと表現を追求する為に、集中して取り組もう。 個人で表現を深める時間と、仲間との意見交流により表現の幅を広げる時間との切り替えを明確にして取り組もう。 自分の意図通りに制作が進まない時は、意欲的に質問を重ね、意見交流と鑑賞も積極的に生かそう。 作品、プリント類の期日を守って提出しよう。
	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、身近な事柄と美術のつながりを考えよう。 テストは実技もあるので、範囲内の課題の練習を当日までに行い、資料と授業で習得したことを生かせるようにしよう。 休日などに近隣の美術館に足を運び、本物のすばらしさを体感しよう。
家 庭	

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	<p>○オリエンテーション ・美術との出会い</p> <p>○見つめると見えてくるもの (絵画) ・鉛筆で描く</p> <p>○文字っておもしろい (デザイン) ・レタリング ・文字の基本 ・色彩の基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 ・鉛筆の持ち方、タッチの種類、調子のつけ方を学び、表現の基礎を身につけることができる。 ・対象をよく観察し、形をしっかりとらえることができる。 ・明暗表現のための鉛筆によるグラデーションをきれいに作ることができる。 ・自分や友人の作品から素描のよさや美しさを味わおうとすることができる。 ・レタリングの基本となる明朝体やゴシック体の描き方を理解する。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・文字絵 <p>○原始の表現に出会う (鑑賞) 美のタイムトラベル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 ・身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ・文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 ・目的に合った配色の工夫をする。 ・形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・文字絵 <p>○ルネサンスを知ろう (鑑賞) (生徒作品鑑賞)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいに彩色する。 ・ルネサンスのよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 ・構図、色彩や人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。

第1学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>【体育分野】</p> <p>(1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。</p> <p>【保健分野】</p> <p>(1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p>
	<p>教科書 最新 中学校保健体育（大修館書店）</p> <p>副教材等 図解体育</p>

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習カード、プリントの内容 定期テスト 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習カード、プリントの内容 定期テスト 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席、遅刻、見学日数 服装、頭髪等の参加態度 体操服、準備物の忘れ物 授業の様子や発言内容 学習カード等の内容

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 どの学習活動も仲間と協力し、粘り強く取り組みましょう。 学習カード、振り返りは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	体づくり運動 集団行動 新体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合う。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようとする。 ・健康・安全に気を配ることができる。 ・集団行動での基本的な行動の仕方を理解し行動できる。 ・持久力、柔軟性、筋力等の測定を行い、自己の課題に気付くことができる。
	陸上競技 ・短距離走・リレー	<ul style="list-style-type: none"> ・滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
	球技 ・ネット型 （バレーボール）	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、友達のプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール、背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・積極的に取り組み、ルールやマナーを守ろうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を守るなど健康・安全に気を配る。
	保健 健康の成り立ち、生活習慣と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解する。 ・課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
2 学 期	体育祭練習	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組み、よりよい記録ができるよう仲間と共に協力する。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組み方を工夫するとともに、自分や友達が考えたことを伝える。
	器械運動 ・マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・回転系や功技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行ったり、それらを組み合わせたりすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、よい演技を認めること、仲間を援助すること、仲間の課題に応じた課題や挑戦を認めることなどや、健康・安全に気を配る。
	球技 ・ベースボール型 （ソフトボール）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防ができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、友達のプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助す

		ることなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	武道 ・剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法の意味を理解し正しく行うことができる。気迫のこもった面打ちを行うことができる。防具を正しく装着することができる。 ・積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、友達の課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。
	保健 ・心身の機能の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	陸上競技 ・長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ・ペースを守って走ることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
3 学 期	球技 ・ゴール型 (バスケットボールか ハンドボールなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防することができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、友達のプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代的なリズムのダンス】リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	保健 ・心の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

第1学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

教科書	<p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。</p> <p>(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
	技術・家庭 技術分野（開隆堂）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p>	<p>生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・定期、実技テスト等 ・ノート、ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期、小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品、パフォーマンス課題等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・生物育成の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・作物、動物及び水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則について理解することができる。 ・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解することができる。
	・生物育成の技術による問題解決	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる。 ・生物育成の技術の見方・考え方を活用し、問題を解決することができる。
5	・社会の発展と生物育成の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解することができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。
	・社会の発展と材料と加工の技術	吉崎海岸のゴミの流着と、プラスチック問題を結びつけ、持続可能な社会における技術の適切な評価を行うことができる。
6	・情報についての基礎的・基本的な知識・技能	・情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則の理解・情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
	・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みの理解することができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等を行うことができる。
7	・計測・制御のプログラミングによる問題解決	・情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
	・社会の発展と情報の技術	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。

※生物育成について生物の育成状況に前後があるため、11月以降に行う情報の授業を9月より並行して行います。

第1学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
	<p>教科書 技術・家庭 家庭分野（開隆堂）</p> <p>副教材 技・家ノート（明治図書）</p>

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどうのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等	主な学習目標
1	家庭分野ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや話し合いによって、これまでの自分を振り返る。 ・家庭科の学習が生活の自立や持続可能な社会の形成につながることに気づく。
4	1 目的に応じた衣服の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服と洋服の構成の違いを知る。和服の文化に関心を持ち、和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。既製服を選ぶポイントがわかる。
5	2 日常着の手入れと保管	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 衣服を適切に収納、保管できる。
7	3 生活を豊かにするものの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いて生活を豊かにするものを考えることができる。 ・制作の手順と要点を調べ、必要な用具と完成までの流れを理解できる。
1	4 持続可能な衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮した衣生活を送るために工夫できることを考える。
2	5 住まいのはたらきとこちよさ	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割について理解する。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ・住まいの空間の使い方について理解し、自分の住まいを振り返る。 ・さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解し、家族がこちよく住むために、住まい方を工夫することができる。
3	6 安全な住まいで安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の事故の種類とその原因を知る。 ・幼児や高齢者尾安全を考えた住まい方について工夫する。 ・地域のさまざまな災害に備えて、屋内を安全に整備する必要とその方法について理解する。

第1学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 1
副教材	Get! English①上・下巻 (学宝社)、miki Notebook (浜島書店)、 観点別評価テスト積み上げ (明治図書)

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>
読むこと	<p>〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p>

- ・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
- ・教科書の本文を、何度も音読しましょう。
- ・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
- ・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Let' s Be Friends!	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの気持ちをたずね合ったり、会話を聞いて場面を考えたりすることができる。 ・好きな色、行きたい国、誕生日について聞き取ったり、話したり書いたりすることができる。 ・数を表す言葉を読んだり聞いたり言ったりすることができる。 ・アルファベットの大文字と小文字を聞いて書き取ることができる。 ・音とつづりの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりすることができる。
	Unit 1 Here We Go!	<ul style="list-style-type: none"> ・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。
5	Daily Life 1 国際郵便	<ul style="list-style-type: none"> ・海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。
	Unit 2 Club Activities	<ul style="list-style-type: none"> ・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。
6	Unit 3 Enjoy the Summer	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。
7	World Tour 1 世界の中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知ることができる。
	Active Grammar 1 am、 are/一般動詞/can	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	You Can Do It! 1 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・6人の中学生のプロフィールを読んで、共通点・相違点を見つけることができる。 ・自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つけることができる。
9	Unit 4 Our New Friend	<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。
10	Unit 5 This Is Our School	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。
	Daily Life 2 落とし物	<ul style="list-style-type: none"> ・落とし物の持ち主を探すやり取りができる。

	Active Grammar 2 代名詞	・代名詞の使い方を理解することができる。
11	Unit 6 Cheer Up、 Tina	・紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 ・身近な人の基本的な情報を伝える紹介文を書くことができる。
11	Active Grammar 3 is / 3人称単数現在形	・自分と相手以外のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 3 カフェ	・飲食店で注文するやり取りができる。
	World Tour 2 世界の時刻	・日本と世界の時差について知ることができる。
	Active Grammar 4 疑問詞	・疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解し、使うことができる。
12	Let' s Read 1 What Am I?	・説明文から”I” についての情報を読み取ることができる。
	You Can Do It! 2 「ドリームファミリー」を紹介しよう	・「ドリームファミリー」の紹介から、家族の情報を聞き取ることができる。 ・グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。
1	Unit 7 New Year Holidays in Japan	・はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・冬休みの出来事や感想などを伝えるはがきを書くことができる。
	Active Grammar 5 動詞の過去形	・一般動詞と be 動詞の過去形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 4 ウェブサイト	・ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。
2	Unit 8 Getting Ready for the Party	・写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・写真に状況を説明するキャプションを書くことができる。
	Active Grammar 6 現在進行形	・現在進行形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 5 ラジオの中継	・ラジオの中継から現地の様子を聞き取ることができる。
	Let' s Read 2 The Lion and the Mouse	・物語からあらすじを読み取ることができる。
3	You Can Do It! 3 学校行事の紹介ページを作ろう	・学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 ・グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。
	Let' s Read more My Japanese Lessons	・まとまった分量の英文の概要を読み取り、感想や意見をもつことができる。

話すこと(やり取り)	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>
話すこと(発表)	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p>
書くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的に YEF の先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
----	---